

平成 24 年度 (2012 年度)

事業報告

平成 25 年度 (2013 年度)

事業計画(案)

事業報告

<総括報告>.....	2	4 日本語学習事業	
1 外国人の人権擁護と自立支援		4-1 日本語教室.....	11
1-1 生活相談.....	3	4-2 国際子どもクラブ.....	12
1-2 シェルター.....	4	5 子どもの健全育成事業	
1-3 DV講習会・生活相談勉強会.....	4	5-1 子どもの健全育成支援.....	12
1-4 パソコン教室.....	4	6 行政・NGO との協働	
1-5 携帯電話通訳事業.....	5	6-1 行政との協働事業.....	13
2 国際理解と国際交流の推進		6-2 行政関係会議.....	14
2-1 国際理解講座、イベント.....	6	6-3 NGO・NPO・協力ネットワーク.....	15
2-2 大学との協働、インターシップ.....	7	7 その他	
2-3 語学教室.....	8	7-1 機関誌「ハローフレンズ」.....	16
3 多言語情報の収集と提供		7-2 ホームページ.....	18
3-1 多言語情報誌「インフォメーションふじみの」...8		7-3 センター利用.....	18
3-2 生活ガイドホームページ.....	10	7-4 センター事業・その他・理事会・スタッフ会議.....	19
3-3 翻訳.....	10		
3-4 出版、編集.....	11		

事業計画 (案)

1 事業計画一覧.....	23
2 事業計画 (案).....	24-26



特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター

定 款

(目的)

第3条 この法人は、富士見市、ふじみ野市、三芳町ならびに周辺の地域に居住する外国籍の人たちの自立支援と、一般市民・団体との交流・協力活動を推進し、豊かな多文化共生社会の実現に寄与することを目的とする。

平成24年度 事業報告

《総括報告》

平成24年7月9日には入管法が改正され、外国人の住民登録制度が導入されたが、思いのほか混乱はなかった。この改正によって、外国籍市民も日本人と同じ住民票に記載される制度となり、「外国籍市民の人権を尊重してほしい」と訴え続けてきたふじみの国際交流センター（以降 FICEC）にとっては、一つの前進といえる年になった。

5月19日には、センター開設15周年を記念した催しとして「国際フェスティバル」を開催することができた。理事、スタッフはもちろんのこと、地域で暮らす外国人、さらには富士見市・ふじみ野市・三芳町など行政機関や、埼玉県警の方々にも協力していただいて盛大な会を催すことができた。

また、9月から国際子どもクラブの活動について、交通の便を考えて上福岡駅前の「市民活動支援センター」で開くようになったことや、12月のシェルターの引っ越しは、大きな変化といえる。

センターの日本語教室や子どもクラブを利用した外国人を分析してみると、中国人が圧倒的に多いことが今年の特徴といえる。DV被害でシェルターに入居した家族も、夫婦共に中国籍の人が多く。かつては、芸能ビザで入国して日本人男性と結婚し、日比混血児を抱えたフィリピン人女性からの相談に明け暮れた時代もあったが、今はもっぱら中国籍の人たちと多くかかわるようになった。「法務省が平成24年12月末の在日外国人について、32%を中国人が占めるようになったと発表した」という報道があったが、そうしたデータとも合致している。

めまぐるしく変わる世情を反映して、センターの活動も難しく複雑になってはいるが、埼玉県国際課との協働で「外国人生活ガイドDVD」「外国人防災ガイドブック」「外国人緊急カード」の作成が実現したことは、外国人の市民権が少しずつではあるが認められてきていることを実感できる。（文責：石井ナナエ）

事業名		事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者
外国籍等市民の人権擁護と自立支援		生活相談	通年	FICEC・他	10名	815件
		シェルター	通年	FICEC・県内	10名	延460人
		DV講習会・生活相談勉強会	22回	FICEC・他	10名	100名
		パソコン教室	第2,4木曜24回	FICEC	延47名	延137名
		携帯電話通訳事業	月一金 8時-17時	県内	10名	450名
国際理解と国際交流の推進	国際理解社会教育	国際理解講座	6回	小中高校・公民館他	28名	1,000名
		大学との協働	3大学	大学・県NPO活動推進課	8名	1,000名
	語学教室	中国語教室	金42回	FICEC	延53名	延133名
		英語教室	木47回	西公民館	延47名	延259名
多言語情報の収集と提供		生活情報誌の発行	12回	FICEC	13名	4800部
		生活ガイドHP維持管理	5回/年	FICEC	8名	アクセス数 87,680件
		翻訳	49件	FICEC・県内	延130名	埼玉県民
		出版、編集	2冊	FICEC・他	13名	3,000名
日本語学習支援		日本語教室	52回	FICEC	8名	延270名
		国際子どもクラブ	土曜、長期休暇中	FICEC	延303名	延302名
子どもの健全育成	子どもの健全育成支援	月・水・金 292回	藤久保公民館・他	延1,459名	延1,393名	
行政との協働		行政との協働事業	通年	県内	30名	埼玉県民
		NGO・NPO・協力ネットワーク	43回	県内	5名	埼玉県民
その他		機関誌の発行	隔月	FICEC	8名	6000部
		ホームページ	随時	FICEC	3名	アクセス数 367,828件

1 外国人の人権擁護と自立支援

■1-1 生活相談

平成 24 年度の生活相談は、子どもに対する日本語支援、学習支援の依頼が圧倒的に多かった。対象になった子どもは外国籍とは限らず、国際結婚で生まれた日本国籍の子どももいる。特に、母親が外国籍の場合は、子どもの勉強を見ることができない場合も多く、FICEC のスタッフが出張して子どもに勉強を教えることもある。埼玉県では生活保護家庭の中学 2、3 年生を対象に学習支援をしているが、そろそろ文部科学省自身が本腰を入れて、外国ルーツの子どもを対象にした学習支援の事業を行うべき時期が来ていると思う。

また今年も、生活困窮を訴える相談も多かった。その中には、「夫が生活費を渡してくれない、離婚して生活保護で暮らしたい」といった安易な発想での相談も多く、「日本語をしっかりと勉強して、少しでも時給の高い仕事ができるように努力する必要がある」といったアドバイスをすることもあった。

また今年初めて、難民認定申請中のアフリカ人の相談を受けた。「日本で難民申請をした外国人が、過去最高の 2545 人に達し、2 年前と比べても倍増している」という法務省の発表から見えるように、一定の要件を満たして仮滞在許可を受けてから難民と認定されるまでの間、許可が降りるのを待ちきれず、ほかに在留方法がないかを探しに来た様子が察せられる。

小さな NPO の相談窓口ではあるけれど、これからもスタッフ研修などで勉強しながら、社会の状況を的確に受け止められる NPO として、外国ルーツの人たちの良き相談窓口でありたいと考えている。

医療	医療費、病院へ同行（入院手続き等）、うつ、アルコール依存	42
家族	離婚、夫婦トラブル、交際相手、DV、子ども	71
教育	日本語支援、学習支援、入園・入学手続き、学校との連絡	398
言語	日本語指導、翻訳、通訳、代筆	76
司法	税金、犯罪、裁判・法務局への同行・支援、子どもの国籍	18
住居	住まい探し、引越しの手伝い	23
生活	生活費、生活保護、近隣関係、国民年金・保険手続き、遺族年金	102
入管	ビザ、在留カード申請・更新、帰化、帰国、保証人	39
労働	求職、会社とのトラブル、技能修得、労働災害、労災保険	43
その他	ボランティア希望、友達がほしい	3
合計		815 件

ふじみ野市	343
三芳町	253
富士見市	146
朝霞市	11
新座市	11
川越市	10
その他	41
計	815 件

フィリピン	295	パキスタン	37
中国	143	ペルー	19
コロンビア	112	台湾	18
*日本	72	アメリカ	14
ブラジル	53	その他	52
計			815 件

*日本：外国人の配偶者や知人、外国人から相談を受けた行政職員など

■1-2 シェルター

平成 24 年度のシェルター入居者は、モンゴル 1 組、フィリピン 2 組、中国 3 組の計 6 組。子どもを含めた 15 人で 165 日の利用があった。母親の年齢は 20 歳代が 1 人、30 代が 4 人、40 代が 1 人で、夫は日本人 3 人、中国人 3 人だった。夫との出会いのきっかけを尋ねると、「飲み屋の客としてきた人」が 4 人、「ゲームセンター、インターネットで知り合った」という人もいる。きわめて狭い社会の中で知り合い、結婚にまでいたっている。また、夫との年齢差が 12~20 歳年上という女性が 4 人いるというのも、通常の結婚例とはだいぶ差がある。

入所期間	入所者
4/1~12	11 日 4 人
6/8~7/1	24 日 2 人
7/12~8/1	21 日 1 人
12/23~1/16	59 日 3 人
1/22~2/20	30 日 2 人
3/8~3/27	20 日 3 人
計	165 日 15 人

夫の職業を調べてみると、会社員が 2 人いるが、妻には生活費を渡してくれないとか、うつやアルコール依存のため無職の人もいて、妻のお金で生活費をまかなっている人が、6 組中 5 組あった。

彼女たちの苦労話に耳を傾け、再出発するための支援を全力で尽くしているスタッフの姿を見ると、結果的に結婚を選択してしまう女性の側を責めたくもなるが、暴力夫との間に生まれた子どもたちには幸せになって欲しいと願わずにはいられない。

■1-3 DV 講習会・生活相談勉強会

4/17	保科先生勉強会 場所：FICEC
7/19	外国人相談研修会 場所：浦和地方庁舎
7/20	国立武蔵野学院視察
7/26	災害時対策研修 場所：江南総合文化会館
8/1	国際理解教育セミナー 場所：北浦和カルタスホール
8/4	神奈川県国際交流協会視察
9/20	ふじみ野市地域防災計画研修 場所：ふじみ野市役所
9/8,9,29、11/25、12/8、2/8,10	NPO 育成支援セミナー 場所：ふじみ野交流センター他
11/17、12/1	DV 被害者支援ボランティア講座 場所：FICEC
11/19	DV 被害者の実像について 場所：埼玉会館
11/28	DV 支援団体交流会 場所：防災センター
12/7	外国人相談研修会 場所：北浦和地方庁舎
12/10	災害時のやさしい日本語 場所：ソニックシティ
2/26	関東弁護士協会研修会 場所：弁護士会館
3/6	外国人相談研修会「入管法の改正について」 場所：北浦和地方庁舎



■1-4 パソコン教室

前年度同様に、外国籍等市民枠と日本人枠の両建てで授業を進めてきた。どちらも継続率や出席率は比較的良好な状況であった。またパソコン技術の習得にもかなりの進歩がみられ、良い状況となっている。来年度も今の状態を維持したいと考えている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

学習者

外国籍等市民	0	2	2	2	0	4	5	4	2	4	5	3	33
スタッフ	2	2	3	2	1	3	4	1	4	5	1	2	30
外部学習者	7	6	5	5	6	6	5	7	6	7	6	8	74
計	9	10	10	9	7	13	14	12	12	16	12	13	137

講師延べ人数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	47
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

■1-5 携帯電話通訳事業

4/2、5/7、6/7、7/5、8/2、9/3、 10/1、11/5、12/3、1/7、3/4,29	携帯電話通訳者研修
4/16、5/28、6/29、7/27、11/28	事務局会議
7/11,26、9/6,25,26,27,28、1/31	契約行政訪問

埼玉県国際課との協働事業により開始された携帯電話通訳事業も3年目に入り、平成24年度は、蕨市、三郷市、東松山市、滑川町と携帯通訳の契約締結をした。24年度は特に、携帯電話以外の行政の指定固定電話からの電話も受け付けるようにし、利便性の向上を目指した。引き続きNPO法人セカンドリーグ埼玉がコンサルタントとして参加してくれていて、FICECの過去の生活相談を調査し、必要な研修内容の確認、助成金申請の草案作成などを行った。

【研修】通訳者のスキルアップ研修会を毎月1回開催し、通訳をスムーズに行うための知識を幅広く学習した。また、研修会の前には、その月の通訳内容についての確認を行い、スムーズに通訳が行われたかどうか、問題点の有無などを確認し、難しい案件に関しては、通訳者全員で情報を共有するようにした。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
行政書士による「入管法改正」のポイント説明	住民基本台帳法改正と住民票	入管法改正に関するデマ	在留カードQ&A	＝事例研究＝結婚と離婚	入管法改正とビザ
10月	11月	12月	1月	2月	3月
＝事例研究＝住居	失敗通訳から学ぶ通訳の基本	胎児認知と国籍	＝事例研究＝教育	災害時に役立つやさしい日本語	遺族年金

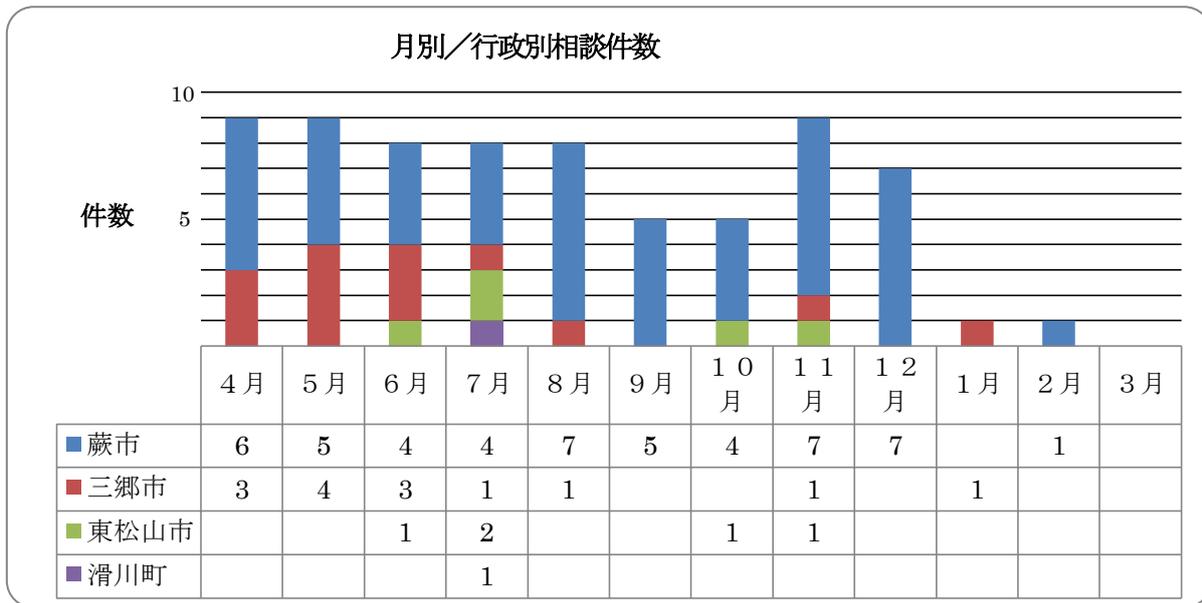
【情報誌の発行】

情報誌『FICEC 通信』を毎月1回メールにて発信。通訳者研修の様子や、外国籍等市民に関する情報提供を行った。

【大学との協働】

埼玉大学経済学部松本正生ゼミナールと連携し、埼玉県内の行政訪問調査（※1）の中で携帯電話事業の必要性をリサーチしてもらい、ケアが必要な在日外国籍等市民・行政・NPOのそれぞれが抱える問題を解決するような新たな活動のあり方などの意見交換を行った。

※1埼玉県庁（県民生活部共助社会づくり課）からの業務委託による「埼玉県NPO活動促進広報キャンペーン事業」の取り組み



【成果と課題】

成果：3年目となり、通訳がスムーズに行われるようになった。行政担当者や利用者からのクレームが1件もなかったことから、毎月の研修会での学習が通訳者のスキルアップに役立ち、携帯事業全体の質の向上につながったと実感することができた。

課題：蕨市は4市町の中では一番利用が多かったが、予算を確保することが出来ずに25年度は継続不可となった。その一方で、東松山市は利用件数そのものは少ないが、事業内容が評価されて予算を確保できた。このように行政によって外国籍等市民支援への対応が異なるので、一つのやり方にこだわらず、柔軟に対応させていかないと事業を長く継続させることは困難であると考えられる。

また、埼玉大学松本ゼミナールの調査により、携帯電話による通訳事業について、埼玉県内の行政側のニーズはほとんどないことがわかった。しかし、実際に埼玉県に暮らす外国籍等市民のニーズはないのだろうか。改めて見直す必要がある。

2 国際理解と国際交流の推進

■2-1 国際理解講座・イベント

	講座名	講師・内容
8/24	彩の国ボランティア体験プログラム事業〈大井公民館〉	山崎・寺村 (台湾料理)
11/11	富士見市国際交流フォーラム〈富士見市ふじみ野交流センター〉	ボラ サイマ (交流コーナー) サイマ・ロセリン・エルザ (外国人の主張) チョチョアイ (ミუნマーの踊り)
12/18	日本の文化と世界の文化を学ぼう〈ふじみ野市社会福祉協議会〉	長野マルセル (チリの話)
1/11	人権同和教職員研修会〈坂戸西高等学校〉	石井 (講演)
1/24	国際理解授業〈ふじみ野市立鶴ヶ岡小学校〉	サラマ サタール・イクラ サタール (国際理解授業)
1/25	13市町行政担当者研修〈三芳町〉	山崎・寺村 (台湾料理)

■2-2 大学との協働、インターンシップ

FICEC では大学や NGO との協働でインターンシップ受け入れや、日本工業大学との日本語教材ソフト開発事業などを行っている。

①埼玉大学

平成24年度は、テーマ教育プログラム「NPOと出会うⅡ」を履修している学生5人と、教育学部の学生2人を受け入れた。

NPO の活動を通して「社会人になること」「仕事をするということ」「社会に関わること」とはどのようなことかについて学習するのが目的で、平成24年度はDVD作成と7か国語ガイド

ブック作成という2つの大きなプロジェクトに参加をしてもらった。どちらのプロジェクトにも積極的に関わってもらい、インターン終了後もプロジェクトに協力してくれる学生もいた。

埼玉大学	インターンシップ13日間 DVD制作会議 DVD撮影 ガイドブック編集会議 等
埼玉県立大学	インターンシップ7日間 IP演習、発表会(場所/狭山保健センター)
西武文理大学	インターンシップ9日間 子どもクラブ 書類作成 日本語指導等
社会事業大学	インターンシップ1ヶ月間 FICECの活動研究
日本工業大学	協働研究 外国人向け日本語教育ソフトの開発(6日間来訪)
彩の国NPO大学ネットワーク	2/13,8/21 インターンシップ構築会議

②埼玉県立大学

保健医療福祉の現場で外国籍等市民患者により適切に対応するため、埼玉県立大学で保健医療福祉を学ぶ学生がFICECで外国籍等市民サポートの実践について学んだ。

10/2 オリエンテーション、10/3 外国籍等市民にインタビュー 演習、10/4 外国籍等市民にインタビュー、10/5 発表

③埼玉大学 松本ゼミ

埼玉県県民生活部共助社会づくり課からの業務委託を受け、「埼玉県NPO活動促進広報キャンペーン事業」に取り組んだ埼玉大学経済学部松本正生ゼミナールの学生5人と「NPO活動としての在日外国人ケアの再検討」というテーマをもとに、情報交換を行った。

④西武文理大学

学校の紹介で、NPOでインターンをやりたいと自ら志願した中国人学生を1人受け入れ、FICECのあらゆる活動に参加してもらった。

⑤日本工業大学との共同による「外国人向け日本語教育ソフトの開発」

昨年に引き続き情報工学科3年のセミナー課題として研究が続けられてきた、4分野にわたる外国籍等市民向け日本語ソフトの完成が佳境に入ってきた。12/10意見交換会(教授・学生計12名、スタッフ6名)、1/20に完成発表会が行われた。今年は特に「スマートフォン対応の漢字練習帳」の発表もあり、若者の柔軟な考えに改めて大学との協働の意義を感じた。今後は、どの日本語教室でも使えるように補助金の申請を行い、埼玉県下の全ての日本語教室、小学校等に本企画の成果物を利用してもらうため、CDの量産化を進め、送付することを視野に入れた展開を図っていく予定である。

●開発されているソフトの一覧

開発ソフト1 「教室にあるものを調べてみよう！」	初来日した子が小学校で見聞きするさまざまなケースを紹介し、1日でも早く学校や友達と溶け込めるよう手助けするソフト。
開発ソフト2 「簡単に覚えられる漢字の書き方」	漢字の習得はなかなか進まないもの。進捗を進めるために漢字を生き物のように静から動へとビジュアルに訴えて理解を進めさせるよう工夫したもの。

開発ソフト3 「スマートフォン対応の漢字練習帳」	漢字練習の大人バージョン。時間が有ればどこでも学べるようスマートフォンを使った漢字学習ソフトとなっている。
開発ソフト4 「日本語マスター…とりあえず街に出かけてみよう」	町中にある生活に必要な様々な施設とその使い方を示唆するもの。病院、銀行、郵便局、警察、駅等々、それぞれの使い方を簡単に説明、1日でも早く生活に慣れてもらおうというソフト。日本語教室で大いに役立つことが予測される。

■2-3 語学教室

①英語教室

全47回、延べ259名の参加

日時／毎週木曜日 午後7時-8時と8時-9時

場所／西公民館

講師／アメリカ出身、フィリピン出身

学習者／高校生から社会人の8人

木曜日夜間の英語教室は、3~4人の少人数制で英会話の学習をしています。語学学習を通してその国の文化についても知ることができる。また、先生と食事会を行い交流も図っている。

②中国語教室

全42回、先生延べ53人、生徒延べ133人

日時／毎週金曜日 10時-12時、場所 FICEC

講師／中国人ボランティア

学習者／社会人の5-8人

③その他の教室

外国籍等市民の自立の支援の一環として外国語教室を開きたいと希望する人に対して、連携事業による教室の提供も実施した。

- ・英語教室 月曜午後1時-2時
- ・中国語教室 土曜夜6時半-8時

3 多言語情報の収集と提供

■3-1 生活情報誌「インフォメーションふじみの」

最近、『インフォメーションふじみの』の記事として取り上げる企画内容について専門的な詳細な情報が必要となり、翻訳にも苦心するケースが多くなってきた。今後も内容を充実するために、引き続きチェック体制の充実を求めていく努力が必要と痛感している。このことは、外部から依頼される翻訳力の増強にもつながってくるものと考えられるので、FICEC 全体の問題として強力に推進していくべきと考える。

企画会議においても、目まぐるしく動く法律的な問題を始め、一般生活に至る情報提供にも外国市民を強力にサポートする相談員の実体験に基づいた話題提供が大きなプランソースとなっているのは心強い。月1回定期的に行われる企画会議の実施は編集上不可欠の要素となっている。

一方配布先も「日本語教室連絡会」12教室（志木地区の2教室が新規に参加）にも賛同を得て、配布していただけるようになった。

表紙のイラストも引き続き日本語教室ボランティアに描いていただいている。季節に合った図柄は、日本人の心の一端をイラストを通して外国籍等市民に理解してもらえたらという願いも込められている。



表紙イラスト
林 由紀子

平成24年は入管法が大きく変更となり、多くの外国籍等市民の関心事となった。従来の法律とは異なり手続きも簡素化されたが、一方、移動に関しての手続きに厳しさが加わるなど、細かい内容に本紙が大きな役割を担えたのは、大きな成果であると認識している。

特に専門性の高い内容が必要とされる法律的な部分において行政書士のスタッフのお力添えにより、記事内容について読者に信頼感を生み出すことが出来た。

「インフォメーションふじみの」は、2市1町の各行政機関にとどまらず、県内各地の主たる機関に配布されており、伊奈町の県民活動センターなど、思わぬところでも目についたという驚きもあった。

富士見市では「広報 ふじみ」に数年前から毎月本誌の紹介をいただいているが、本年も引き続き掲載いただ

た。市内においても関係部署に配布されている。

不特定多数の市民については、ホームページ (<http://www.ficec.jp/foreign/>) でも「外国語のページ」として掲載しており、アクセス数も例年多くあるとの報告もあり、地域の些少な情報誌ではあるが、企画内容が広域的に生かされているという心強さも感じている。

発行の概要	
翻訳言語	中国語、英語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語、日本語
発行回数、部数	毎月1回、年12回、毎月400部、年4800部発行
配布場所	2市1町の公的機関。他に県下主要公的機関や関係機関。また各日本語教室にも受講生への配布をお願いしている。日本語版のみ全会員に郵送している。
活動内容	毎月1回第一火曜日を編集会議に充て、内容の充実を図っている。
作業の流れ	企画決定⇒原稿作成⇒翻訳依頼⇒受領⇒内容精査⇒印刷原稿作成⇒印刷⇒配布
スタッフ	企画・原稿作成・編集・6ヶ国語翻訳・印刷・配布関係 計13名、

176号 4月号	入管法が変わります Part1 噂に頼らず確かな情報を確認しましょう ・5月19日国際フェスティバル開催・子ども医療費の受給資格証・無料パソコン教室4月生募集
177号 5月号	入管法が変わります Part2 「外国人カード」から「在留カード」に変更。 ・5月19日(土)国際フェスティバル・4月から「子ども手当」が「児童手当」に変わりました・夏休み「ふじみ野寺子屋」・「譲ります」「譲ってください」コーナーで欲しいものを探しませんか
178号 6月号	入管法変更で増える届け出 ・個別成人歯科検診(歯と歯茎の診断を)・スポーツ広場お知らせ・「仮住民票」が届いていますか・消費者トラブルは「消費者ホットライン」
179号 7月号	夏休みは「国際子どもクラブ」に来ませんか ・さいたま市で同時通訳付きの119番が誕生・7月のスポーツ広場は14日です・自転車には鍵を二つ付けましょう・「仮住民票」届いていますか・「富士見ガーデンビーチ」・児童手当の現況届を出しましたか
180号 8月号	事故を未然に防ぐ正しい自転車の乗り方 ・胃がんリスク検診・入管法の変更で間違い噂にだまされないで・熱中症対策を忘れないように・「富士見ガーデンビーチ」小学生向けの水泳教室・児童扶養手当の手続きを忘れずに

181号 9月号	だまされないで!! 新入管法適用の誤った噂 ・国民健康保険の「特定健康診査」・「かくれ熱中症」にご注意を! ・外国籍等市民の協力で2冊の本が完成しました ・日本語を母国語に翻訳できる人はいませんか ・FICECの七夕祭り
182号 10月号	愛するお子さんを「いじめのワナ」から守るために・・・ ・ポリオワクチンの種類と接種方法が変わりました ・来年4月に小学校入学予定のお子さんは健康診断を! ・ミニ鉄道に乗ってみませんか ・日本語を母国語に翻訳できる人はいませんか ・新健康保険証
183号 11月号	愛するお子さんを「いじめのワナ」から守るために・・・Part 2 ・10月1日からふじみ野市でパスポート取得が可能に! ・平成25年4月の公立保育所、市立保育園の入所申し込み受付 ・富士見市「国際交流フォーラム2012」 ・10月から子ども、乳幼児の医療費がかわりました ・外国人緊急カードができました
184号 12月号	鏡餅、初もうで、お雑煮 お正月行事で“日本の心”を知ってください ・12月2日(日)ふじみ野市で外国語で防災訓練の放送が流れます ・締め切り迫る!ひとり親家庭児童就学支度金支給制度
185号 1月号	引っ越しトラブル続発 ・外国人専門は初めて!公設法律事務所・猛威をふるう「ノロウイルス」 ・書き初めと鏡開きを実施します
186号 2月号	湯気の向こうに日本の文化が見える!!「スーパー銭湯」を体験してみませんか ・平成25年1月に富士見市「ふるさとハローワーク」が誕生しました ・平成25年度小、中、特別支援学校入学説明会が始まります ・1時間300円で悩み解消
187号 3月号	挑戦に値します「県営住宅の申し込み」で快適生活を ・地震の備えに心強い本が出来ました「7カ国語防災ガイドブック」 &カード・翻訳・通訳ボランティア募集 ・平成24年度の埼玉県最低賃金

■3-2 生活ガイドホームページ

富士見市・ふじみ野市・三芳町より更新情報の提供を受け、多言語版ホームページを作成した。

5/29	富士見市	本文10箇所、施設編3箇所
7/29	富士見市・ふじみ野市・三芳町	新しい在留管理制度・住民基本台帳法の適用スタートに伴う変更により本文第1章全面更新、その他24箇所、施設編6箇所
9/4		リンクの修復
9/10		不活化ポリオワクチンの導入により更新
3月	富士見市・ふじみ野市・三芳町	年度未改訂、見直しにより本文、施設編、医療機関編の更新

■3-3 翻訳

1) 行政からの依頼

・ふじみ野市3件

- ①ふじみの市子育て支援センターパンフレット、利用説明書翻訳 ②ふじみ野市市民課仮住民票翻訳
③ふじみ野市保健センター乳幼児健診問診票他

・富士見市3件

- ①シャバツ市長への親書(英語)2件
②国際フォーラムの案内(英語・中国語・ポルトガル語)1件

2) 個人翻訳 43件

翻訳内容(出生証明、婚姻証明、戸籍謄本、離婚証明、ビザ申請、年金、事業など)

■3-4 出版、編集



「7カ国語による快適生活情報クリップ」

ダイジェスト版として22年に始まった本企画は、24年度は3冊、4冊目のシリーズ作品となる。新規企画内容は、住居編、入管編となっている。

本企画は指定寄付金という一般の補助金や助成金と異なった援助を得て発刊できるものだけに、今後の継続性も併せて考えていくべき企画となっている。第1目標は10巻、2次企画として10巻、合計20巻を目標に制作中である。目標は、日本語にまだ慣れていない外国籍等市民や生活困窮者を自立させることにあり、さまざまな生活相談から具体的に解決してきた

事例を文字化し、自らが問題解決への道筋を立てられるように期待する生活情報誌を目指している。前述のように本企画推進にあっては個人の寄付によるところが多いだけに、多くを作成できないが、主要な配布先を限定し、効果的に利用していただけるよう送付した。

4 日本語学習事業

■4-1 日本語教室

- ・学習曜日及び時間：毎週木曜日 10時から12時まで。
- ・開講回数…52日 ・学習者数…平均5.2人 最高8人 最低3人

学習者の減少は少しずつ改善され、平均5.2人という数字となっている。日本経済の低迷や地震の影響はまだあるといえそうだが、新しい学習者が増えているのもその証拠であると考えている。去る1月の日本語連絡会においても、同様の報告もみられ学習者の増加も報告されていた。

●10万円分の日本語教材が寄贈される

本年はFICEC日本語教室にとり画期的な年度となった。日本ライオンズクラブおよび凡人社のご厚意で10万円分の日本語教材の購入が可能になったからである。教材選択はFICEC日本語教室に任せられ、教室担当のスタッフによる選択が行われ、20余冊の貴重な蔵書が書棚に加えられ活用されている。

『ライオンズクラブ、凡人社協力寄贈書籍リスト』

小学館 西和中辞典／日本語—フィリピン語実用辞典／金田一先生の使って伸ばそう日本語力・類義語 反対語 多義語／暮らしのことば 新語源辞典／初級日本語文法と教え方のポイント／図説・漢字の成り立ち事典／和西辞典／みんなの日本語初級I本冊／漢字が楽しくなるシリーズ1～6／絵でわかる日本語使い分け辞典1000／小学校学習漢字がすべて読める漢字童話／みんなの日本語初級 書いて覚える文型練習帳1, 2／みんなの日本語中級 本冊／ひろこさんの楽しい日本語1・2／ひろこさんのたのしいにほんご ぶんけいれんしゅうちょう／日本語能力試験公式問題集N1～N5／新発想イメージで覚える中国語（基本動詞・形容詞300）／新発想イメージで覚える中国語2（基本動詞・形容詞300）／日本語学習のためによく使う順漢字2100

●日本文化を味わってもらおう授業

季節を追って開催している企画、日本文化ともいえる伝統行事を取り入れ、少しでも日本の心を理解してもらおうと実施しているのが「日本の文化を味わってもらおう授業」である。

従来は桃の節句、端午の節句などで華麗な人形を飾ったり、琴の演奏などを行っていたが、FICECが現在地に移転して以降スペースの関係で不可能になり、再開は今後の課題となっている。今後は、1年に1回くらいは、外国籍の学習者の演出による行事なども取り入れたいと考えている。

5/3 端午の節句、5/23 お茶摘み、7/15 納涼ソーメン試食会、12/26 そば打ち、1/10 書初めおよび鏡開き、3/3 桃の節句

●日本語教室終了後の意見交換会

今年から、日本語学習後の意見交換会を行っている。今までになかった特異な企画として指導者側の日ごろの不安が解消されることが期待される。

■4-2 国際子どもクラブ

- ・毎週土曜日 10時から 12時まで、子どもたちに日本語、学校の教科、生活等の指導をしている。
- ・夏休みは水・木・土曜の週3回実施している。
- ・9月からは市民活動支援センターを借りて2か所で実施していたが、平成25年1月からは場所を市民活動支援センター1カ所としたので交通の便が良くなり、学習者が少しずつ増えている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
学 習 者	23	5	29	23	32	20	31	16	30	28	30	35	302
ボランティア	28	12	29	27	30	23	20	20	26	30	28	30	303
計	51	17	58	50	62	43	51	36	56	58	58	65	605

5 子どもの健全育成支援

■5-1 子どもの健全育成支援

1) 目的

昨年度に続いて、埼玉県社会福祉課の業務委託を受け、三芳町の「子ども学習広場」に「子どもの健全育成支援専門員」を派遣し、地域での生活や就学が困難な児童・生徒の生活指導と学習支援を行っている。

2) 活動場所及び日時

- ・場所：藤久保公民館（又は集会所）

小学生クラス：毎週月水金 15：00～17：00（実人数 10名）

中学生クラス：毎週月水金 19：00～21：00（実人数 15名）

3) 活動実績

- ・支援日数

単位：日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
小学生	12	13	13	12	14	11	13	11	10	9	11	12	141
中学生	13	13	13	13	14	12	14	13	11	10	12	13	151
計	25	26	26	25	28	23	27	24	21	19	23	25	292

- ・支援対象児童・生徒数

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
小学生	44	54	65	72	84	55	61	55	59	48	60	56	713
中学生	66	43	53	54	63	64	69	55	55	43	52	63	680

計	110	97	118	126	147	119	130	110	114	91	112	119	1393
---	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	------

・支援者数

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
小学生	49	50	47	55	85	60	48	54	38	27	31	31	575
中学生	81	83	77	66	64	61	81	85	71	61	75	79	884
計	130	133	124	121	149	121	129	139	109	88	106	110	1459

4) まとめ

- ① 成果…日本語の問題以外にも、不登校など進学困難と思われる子どもが志望高校に合格。引きこもりや不登校だった子どもが就労支援により働き始めるなど、特に今年度の学習広場の社会的役割は大きい。不登校の子どもを含む学習支援や、家庭の事情により役場経由で関わった子どもが穏やかな態度に変わるなど、居場所として機能している。
- ② 課題…子どもの健全育成には長期間継続した学習支援を必要とする。次年度からは新小学1年生から学習指導を開始し、高校入試まで継続して支援を行うことにより、高校進学率の向上を図りたい。さらに、高校入学後も途中で、挫折しないよう見守りと支援を続けていく。

6 行政・NGO との協働

■6-1 行政との協働事業

1) 三芳町健康カレンダーの制作

- ・ 名称：25年度保健センター事業一覧
- ・ 言語：英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語の5カ国語
- ・ サイズ：A-3 2枚
- ・ 納期：4月20日最終納入

2) ふじみ野市生活ガイドブック更新業務 (英語・中国語・韓国語・フィリピン語・ポルトガル語)

3) 埼玉県協働事業

地震などに対する防災知識に乏しく災害弱者になりやすい外国籍等市民を支援するために、埼玉県は平成24年度、「地域の外国人支援体制づくり事業」を実施し、行政、公益法人、NPO法人、大学が連携して「災害時外国人支援体制づくり協議会」を設置したFICECIは、外国人緊急カードと7ヶ国語防災ガイドブックの作成を行った。

【外国人緊急カード】

このカードは、やさしい日本語・英語・中国語で作成されており、緊急時に必要な情報がこのカード1枚に書き込めるようになっている。また、地図の部分に自分自身で防災マップを作ることによって、避難場所や危険個所の確認ができる。



- ①名前、母語、避難場所 ②個人情報 (住所、国籍等) ③緊急連絡先 ④医療データ (持病、アレルギー等)
- ⑤地図 ⑥公的機関電話番号

カードは6万部作成、10月に埼玉県内の行政機関、日本語教室、大学などに配布した。新聞にも取り上げられ、県外からの問い合わせもあった。*読売新聞(10月25日朝刊)記事(タイトル「外国人用緊急カード作製」)



【7ヶ国語 防災ガイドブック】

防災や災害時の行動などについて、基礎的な情報を7ヶ国語（やさしい日本語、英語、中国語、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語）で作成。

FICEC の外国人スタッフに最初からプロジェクトに加わってもらい、意見や提案を原稿に反映した。翻訳にも協力してもらい、事業を通して外国人スタッフの災害に対する意識の向上が感じられた。また、インターンシップの埼玉大学の学生や、子どもクラブにボランティア

として参加していた学生にもプロジェクトチームの一員となってもらい、日本語原稿作成を行った。イラストはすべて学生の手書きとなっている。

地震を知らない外国籍等市民にとって特に聞きなれない『自助・共助・公助』についての考え方を伝えることによって、防災に対する意識を高め、いざという時には地域の助け合いの為に力を発揮してくれることを期待できる。2月に完成し、1万部を埼玉県内の行政機関、日本語教室、大学などに配布した。

【外国人生活ガイドDVD「埼玉で暮らそう」7ヶ国語版】

埼玉県国際課から業務委託を受け「外国人のための生活ガイド」のDVDとリーフレットを作成した。

作成に当たり次のことを心がけた。

- ① これまで関わったたくさんの外国籍の方に出演してもらって作ること。
- ② スタッフ全員の共同の仕事として記憶、実績を残すこと。
- ③ 日ごろ私たちの活動を応援してくださっている地域の自治体に協力いただく。
- ④ この地域の環境の良さを取り入れる。

その事業にはふじみ野市役所、埼玉県警と東入間警察署、あおばだい診療所、ふじみ野市立東原小学校の協力をいただき、16か国40人の外国籍の方々の協力を得ることができた。これに日本人のスタッフが加わり60名を超える出演者数となった。

そしてなにより、日本工業大学の石原次郎先生、糸野文洋先生そして横浜美術大学の佐藤英里子先生の協力がなければ、このDVDはできなかつた。三人の先生方に心から感謝している。

このDVDやリーフレットが、外国の方々が、埼玉に住み始める時の良い手助けになることを願っている。

このDVDは埼玉県国際課のホームページで見ることができる。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/liveinsaitama.html>



■6-2 行政関係会議

4/11、4/20	ふじみ野市本庁舎検討会議 場所：ふじみ野市本庁舎
4/18、26、5/11、6/12、7/24、10/5,8,19,20	埼玉県国際課との連携
4/19、7/13、9/20、10/30	ふじみ野市男女共同参画会議 場所：ふじみ野市本庁舎
4/19、2/7	富士見市人権推進課
5/21、7/28、9/26	埼玉県共助社会づくり課
5/22	三芳町子どもを守る地域ネット協議会

5/25、11/9、12/21、2/12	ふじみ野市福祉活動計画委員会	場所：ふじみ野市本庁舎
5/31、6/27、7/31、9/4、16、 10/3、3/18	ふじみ野市社会福祉協議会理事会	場所：ふじみ野市本庁舎
6/3	ふじみ野市大井総合支所	安全祈願祭
6/14	ふじみ野市ボランティアセンター運営委員会	
7/17、8/24	ふじみ野市社会福祉協議会大井支所ボランティア体験	「エスニック料理を楽しもう」
7/23、3/21	埼玉県男女共同参画課	DV 対策会議
8/26	二市一町総合防災訓練	場所：三芳町総合グラウンド
10/15、3/26	ふじみ野市地域防災に関する懇談会	
1/26	ふじみ野市市民活動交流会 2013 「10 万市民の地域力！」	
2/3	南西部NPOフォーラム	場所：富士見市西交流センター
2/6	三芳町子ども学習広場担当県福祉課職員との話し合い	
5/9、6/19、8/10、11/6、 12/3、12/19、1/31、2/14	ふじみ野市社会教育委員会	場所：市役所第4庁舎

■6-3 NGO・NPO・協力ネットワーク会議

開催日	種別	場所	内容
4/11	南西部地域NPO連絡会	朝霞土建整備事務所	運営委員会
4/27	第2次協働のまちづくり推進会議	三芳町役場会議室	24年度第1回協働推進会議(第4回策定会議)
5/21	南西部地域NPO連絡会	朝霞市産業文化センター	23年度総会
6/1	国際交流・協力ネット	県国際交流協会	24年度第1回幹事会
6/1	埼玉県(ハンズオン)	浦和コミュニティセンター	「新しい公共」の担い手拡大セミナー
6/8	国際交流・協力ネット	日本語国際センター	全体会
6/11	NGO ネット	YMCA 浦和センター	12年度総会
6/13	南西部地域NPO連絡会	朝霞土建整備事務所	第2回運営委員会
6/21	中核的NPOを育てる講座打ち合わせ	メイ朝霞	
7/11	南西部地域NPO連絡会	朝霞土建整備事務所	第3回運営委員会
7/23	第1回アジアフォーラム	県民健康センター	アジアの活力を埼玉へ
7/24	2市1町防災訓練会議	三芳町役場 301 会議室	第13回防災訓練計画
7/26	NGO ネット	YMCA 浦和センター	定例会
8/9	南西部地域NPO連絡会	鶴瀬西交流センター	第4回運営委員会
8/26	2市1町防災訓練	三芳町役場	
8/29	NPO 法人育成 program	川越地方庁舎	合同相談会
9/6	NGO ネット	YMCA 浦和センター	定例会
9/8	南西部地域NPO連絡会	朝霞市産業文化センター	人材育成講習会
9/9	南西部地域NPO連絡会	ふじみ野交流センター	人材育成講習会
9/12	南西部地域NPO連絡会	朝霞土建整備事務所	第5回運営委員会
9/13	国際交流・協力ネット	浦和合同庁舎	24年度第2回幹事会
9/29	南西部地域NPO連絡会	和光市中央公民館	人材育成講習会
10/5	NGO ネット	YMCA 浦和センター	定例会
10/10	南西部地域NPO連絡会	朝霞土建整備事務所	第6回運営委員会

10/13	国際フェア	けやきひろば	
10/14	5市・1町日本語ネット	上福岡西公民館	
11/6	南西部地域NPO連絡会	朝霞市産業文化センター	第7回運営委員会
12/4	NGO ネット	浦和パルコ、コムナーレ	定例会
12/5	南西部地域NPO連絡会	朝霞市産業文化センター	第8回運営委員会
12/8	南西部地域NPO連絡会	朝霞市産業文化センター	人材育成講習会
1/16	こども大学みよし	淑徳大学みずほ台キャンパス	こども大学みよし開講企画
1/25	NGO ネット	浦和パルコ、コムナーレ	定例会
1/27	埼玉県、埼玉県国際交流協会	国際交流基金日本語センター	埼玉グローバル賞、講演会
2/3	南西部地域NPO連絡会	鶴瀬西交流センター	NPO 交流まつり in ふじみ
2/8	こども大学みよし	淑徳大学	実行委員会準備会
2/9	NGO ネット	with you さいたま	グローバルセミナー2013
2/15	埼玉県国際課	埼玉商工会議所会館	第3回アジアフォーラム (マレーシア)
2/24	埼玉県国際交流協会	大宮ソニックシティ	外国人出身の子ども支援意見交換会
3/3	三芳町協働まちづくりネット	三芳町藤久保公民館	協働のまちづくりフェア 2013
3/9	埼玉県国際課	国際交流基金日本語センター	キーパーソン研修会
3/12	南西部地域NPO連絡会	朝霞市産業文化センター	第10回運営委員会
3/22	国際交流・市町村ネット	県国際交流協会	24年度第3回幹事会
3/27	南西部地域NPO連絡会	朝霞市産業文化センター	第11回運営委員会

■6-3-1 2市1町日本語教室ボランティアネットワーク会議

東上線沿線日本語教室の活性化のために、近隣のボランティア団体と手を携え情報交換することが必須の要件である。この連絡会も50回以上を数え、さまざまな意見が出されるようになり、本来目的とする情報交換がスムーズに機能し始めた感がある。そうした環境の中、本年も計画通り4回連絡会が実施された。

昨年より参加の志木「かざぐるま日本語教室」、新座「新座日本語の会」の2教室を含め、下記の11団体が回り持ちで会議を開催することとなり、情報交換の幅が大きく広がった。

●参加団体

朝霞インターナショナルソサイエティー、大井日本語教室、大井親子日本語教室、大井弁天の森日本語サロン、かざぐるま日本語教室、新座日本語の会、富士見日本語サークル、ふじみの国際交流センター日本語教室
上福岡西公民館日本語教室、三芳日本語教室藤久保、三芳日本語教室竹馬沢

●連絡会開催日 (3か月ごとの開催) 4/15(日)、7/8(日)、10/14(日)、1/20(日)

7 その他

■7-1 機関誌「ハローフレンズ」

○2012年4月号(第119号)

●国際フェスティバル開催決定

・2012年5月19日(土)に「国際フェスティバル」を開催します。 ・ボランティアとして、ぜひご参加ください。

●FICECの活動紹介

- ・生活相談がもっと充実します
- ・FICECに生活相談の通訳者が常駐しています。

●DV被害者支援ボランティア講座より

- ・生活保護受給世帯が急増
- ・改めて「生活保護とは何なのか」を考える

●外国人サポートの現場から

- ・子どもと一緒に暮らしたい・・・母国からの子の呼び寄せ

●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2

●大井公民館で日本人と外国人が楽しむ交流イベント開催 ●伝言板

○2012年6月号(第120号)

●国際フェスティバル開催しました

- ・5月19日、イオン前広場で国際フェスティバルを開催することができました。
- ・開催内容について、写真入りで紹介しています。

●外国人サポートの現場から

- ・子どもと一緒に暮らしたい・・・母国からの子の呼び寄せ

●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2

●韓国の外国人支援団体を訪問 ●伝言板

○2012年8月号(第121号)

●ふじみの国際交流センター 第14回通常総会が開催されました

- ・平成24年6月10日 すべての議案を原案通り可決し、無事終了しました。

●FICECのサービス

●活動の近況より

- ・日本語教室では茶摘みを体験
- ・書籍10万円分を寄贈いただきました！
- ・外国語ページにアクセスの多いホームページ

●外国人サポートの現場から

- ・外国ルーツの子どもたち 日本語の勉強と居場所づくり

●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2

●韓国の外国人支援団体を訪問 その2 ●伝言板

○2012年10月号(第122号)

●DVD 暮らしのガイド—埼玉県版—撮影中！

- ・外国人向けの暮らしのガイドを埼玉県からの委託でFICECが制作することになりました。出演者を含めると20人以上の外国籍等市民と、FICECスタッフ総出で制作にとりかかっています。

●平成24年度彩の国ボランティア体験プログラム事業

- ・子どもたちが世界の料理の体験を行いました。

●外国人災害時緊急カードを作成しました

- ・やさしい日本語、英語、中国語で緊急時に必要な情報カードを作りました。

●外国人サポートの現場から

- ・在日外国人と日本語 厳しくなった5年ビザの条件

●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2

●埼玉大学の学生7人がインターンシップとしてFICECの活動に参加 ●伝言板

○2012年12月号(第123号)

●富士見市 国際交流フォーラム開催

場所：ふじみ野交流センター 日時：11月11日(日)12時～16時

主催：富士見市・富士見市教育委員会・富士見市国際友好協会

●外国籍の人たちの現況

- ・2市1町の外国籍等市民調査
- ・様々な面から見た外国籍等市民の状況

●外国人サポートの現場から

- ・在日外国人と高齢化問題、若いころに日本に来て定住

●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2

●埼玉大学インターンシップ学生の活動内容

●「インフォメーションふじみの」イラスト執筆者 林由紀子さんの紹介 ●伝言板

○2013年2月号(第124号)

●日本の文化と外国文化を学ぼう

大井総合福祉センターで、日本と外国の文化交流講座を開催。

●DV防止出前講座

- ・DV被害者支援のボランティア育成
- ・DV防止出前講座を実施しました。

●外国人サポートの現場から

- ・定住権をもつ女性が増加。妻に捨てられる夫の事例も増加。

●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2

●FICEC日本語教室と日本工業大学(宮代町)が、日本語教育ソフトを共同開発。

●「災害時に役立つ やさしい日本語セミナー」に参加 ●FICEC活動報告

■7-2 ホームページ

ホームページは、多言語情報誌「インフォメーションふじみの」や機関誌「ハローフレンズ」とともに、FICECが外部に対して情報発信、広報をしていくための大きな手段となっている。

内容としては、FICECの活動紹介ばかりでなく、外国籍等市民に関する統計資料や、多言語による外国籍等市民のための「生活ガイド」のページなど、多岐にわたっている。

ホームページの中で特にアクセス数が多いのが、多言語情報誌「インフォメーションふじみの」のPDF版。毎月、日本語のほか、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語の7ヶ国語で掲載されており、海外からのアクセスも多いものと考えられる。また、「生活ガイド」のページも、日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語の6ヶ国語で掲載されており、アクセス数がきわめて多いページとなっている。

毎月のアクセス件数は次のとおり。

	全体の アクセス件数	トップページ等	インフォメーション ふじみの	生活ガイドホ ームページ	ニュースルーム
2012年4月*	23,858	2,321	9,754	5,506	1,364
2012年5月*	26,494	2,122	11,864	6,420	1,282
2012年6月*	31,933	2,576	14,849	6,807	1,282
2012年7月	32,580	2,253	14,420	8,731	1,217
2012年8月	28,668	2,458	12,530	6,282	1,783
2012年9月	33,739	2,694	15,263	8,126	1,479

2012年10月	32,637	2,655	13,705	7,411	1,740
2012年11月	29,759	2,704	10,946	7,893	1,499
2012年12月	28,907	2,478	10,963	7,778	1,643
2013年1月	31,238	2,620	13,324	7,152	1,618
2013年2月	30,058	2,841	12,139	7,346	1,518
2013年3月	37,957	3,287	16,752	8,228	1,749
計	367,828	31,009	156,509	87,680	18,174

*注：2012年4～6月は、インターネットサーバー業者の事故でデータが取得できなかったため、直前3カ月（2012年1～3月）のデータで代替した。

■7-3FICEC利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数		27	25	26	27	24	24	28	26	23	23	25	27	305
来訪者	外国籍等市民	88	59	103	87	126	107	124	97	121	109	131	131	1283
	日本人	88	39	55	65	76	76	82	47	73	50	58	46	755
	小計	176	98	158	152	202	183	206	144	194	159	189	177	2038
スタッフ	外国籍等市民	17	16	21	13	12	27	21	18	10	14	17	13	199
	日本人	218	192	205	172	186	183	195	184	163	171	181	179	2229
	小計	235	208	226	185	198	210	216	202	173	185	198	192	2428
合計		411	306	384	337	400	393	422	346	367	344	387	369	4466

■7-4 国際フェスティバル等 FICEC 事業・理事会・スタッフ会議

1) 国際フェスティバル

平成24年5月19日（土）、ふじみ野市東久保中央公園にて「国際フェスティバル」を開催した。フェスティバルに参加していただいた大勢の地域の方々、料理を出したり踊りや演奏を披露したりしていただいた沢山の方々、さらに縁の下の力持ちとしてスタッフを支えていただいた行政の方々、特別参加していただいた埼玉県警やパルシステムのの方々、そして企画から運営まで力を尽くしたスタッフなど多数の方々のおかげと感謝している。



何もかもが初めての経験で、どこから手をつけて

いいのかわからない状態から準備が始まった。それにも拘わらず、こんなに大勢の方々の応援を得ることができた。これは、15年間この地に根をおろして、地道な活動を続けてきた「FICEC」が、地域の方々に認められ、頼りにされて来た証だと思える。

今は、FICECの活動から離れている方々もおられるが、今まで活動に携わってこられた大勢の方々の努力が実っていることをお知らせ出来たことも、嬉しいことの一つだった。

フェスティバルの中心となる、料理や舞台に参加していただいた方々との折衝は、慣れないだけに難しい面もあったが、当日は屋台ではたくさんのおいしく珍しい料理を出していただいた。また舞台では、前日まで一生懸命練習して参加していただいた方々もおられた。都内や、遠く横浜からも応援に駆けつけていただいた仲間もおられたと聞いている。

地域にこんなにたくさんの外国籍の人々が住んでいること、顔を合わせ触れ合えば、みな同じ楽しい仲間だということを実感していただいたことで、今回のフェスティバルは大成功だったと思える。

〈内容〉

- ①世界の料理と出店（韓国、フィリピン、コロンビア、トルコ、台湾、中国、タイ、スリランカ、チリ、インド、ブラジル）
- ②世界の踊りと音楽（埼玉県警音楽隊、日本舞踊と和太鼓、コロンビア、トルコ、フィリピン、中国、チリ、韓国、ハワイ）8か国11団体の参加
- ③世界の衣装（16か国 30着の用意）
- ④FICEC の店（わたあめ、ポップコーン、スーパーボール）
- ⑤その他の店（東日本大震災支援活動「立ち上がり公民館」プロジェクト募金活動、埼玉県警の出店、生協の店）



来賓として列席したふじみ野市、富士見市、三芳町の各首長より祝辞をいただいた。

2) その他（FICEC 事業を含む）

4/15	イオンイエローシートキャンペーン贈呈式
4/21	クムスタカリンク総会出席
5/19	国際フェスティバル
6/10	ふじみの国際交流センター第14回総会
8/4,5	上福岡七夕まつり インディアン、レザ、ビッキー出店
8/20	埼玉県警との連携
9/11	施設担当者研修「AEDの使い方」 場所：フクトピア
11/20	関東地区外国人支援団体連絡会
1/8	富士見市賀詞交歓会
1/28	産経新聞大阪支社より取材のため来所
3/15	国立女性会館職員来所

3) 理事会・スタッフ会議

日付	会議	主な内容	出席
4/10	第1回 スタッフ会議	国際フェスティバル準備会・日本語教室高校受験学習者の受け入れについて・「警察、裁判、医療」の通訳について・子どもの健全育成専門員派遣事業活動報告	15人
4/24	第2回 スタッフ会議	埼玉県国際課「地域の外国人災害支援体制づくりモデル事業」「多文化協働で地域課題の解決を図る DVD（多言語対応）作成事業」について・国際フェスティバル準備会より・FICECの組織図の見直し・24年度活動予算案の検討	10人

5/16	第3回 スタッフ会議	埼玉県国際課「地域の外国人災害支援体制づくりモデル事業」「多文化協働で地域課題の解決を図るDVD作成事業」申請・国際フェスティバル最終打ち合わせ	12人
5/22	臨時スタッフ 会議	国際フェスティバルを終えて、今後につなげるための反省会	11人
5/29	第4回 スタッフ会議	埼玉県国際課「地域の外国人災害支援体制づくりモデル事業」「多文化協働で地域課題の解決を図るDVD作成事業」申請中・子ども健全育成支援事業	10人
6/10	第1回理事会	新理事顔合わせ・理事長、理事の法的責任の変更・理事会の役割、スタッフの定義	11人
6/12	第5回 スタッフ会議	ふじみ野市市民活動支援センターの利用について・ホームページの更新、変更・組織図の再確認・「NPOでの活動の醍醐味、NPOの丸ごとセミナー」協力の依頼	10人
6/26	第6回 スタッフ会議	埼玉県国際課「地域の外国人災害支援体制づくりモデル事業」受託決定・スタッフ定義について	10人
7/7	第2回理事会	NPOの理事会の役割・理事会日程について	9人
7/10	第7回 スタッフ会議	翻訳・通訳者募集・富士見市「国際フォーラム」FICCC担当・インターンシップの対応について・ふじみ野市社会福祉協議会夏休みのボランティア体験	11人
7/24	第8回 スタッフ会議	子どもの健全育成支援活動報告・日本語教室連絡会・日本工業大学学習ソフトプログラムの進捗状況・インターンシップ生受け入れ・DV防止出前講座（ボランティア育成編）・JICAの「NGO組織強化のためのアドバイザー派遣」	10人
8/6	第9回 スタッフ会議	子どもの健全育成支援事業活動報告・社会福祉協議会「ボランティア体験プログラム」・大学における埼玉県NPO活動促進広報キャンペーン事業による大学生の受け入れ要請・富士見市『国際フォーラム』・外国人緊急防災カードの言語の検討	9人
8/11	第3回理事会	理事会の役割・25年度以降のシェルター運営・携帯電話通訳事業現状と今後	9人
8/28	第10回 スタッフ会議	社会的包摂サポートセンターの協力依頼について・NPO交流大会への参加内容・NPOパワーアップセミナー・富士見市国際フォーラム・坂戸西高校「教師向け出前講座」・社会福祉協議会「彩の国ボランティア体験プログラム」・「大学における共助の取り組み発信」・ふじみ野市長への要望書と市長との懇談会	11人
9/11	第11回 スタッフ会議	NPOパワーアップセミナー報告・DVD作成事業と防災ガイドブック、防災カードの進捗状況・埼玉県立大学IP演習・国際子どもクラブ「市民活動支援センターで活動」・2市1町生活ガイドHP更新作業の今後	10人
9/15	第4回理事会	ふじみ野市長との懇談会・山口先生からの提案について・生活ガイドHPの今後	11人
9/25	第12回 スタッフ会議	ふじみ野市防災訓練・埼玉県国際課「国際交流基金地球市民賞」に推薦・埼玉大学インターンシップ終了・中国研修生への日本語指導について・スタッフ&理事研修会・2市1町国際化会議 埼玉県立大学IP演習・平成25年度コミュニティ助成事業	11人
10/9	第13回 スタッフ会議	ふじみ野市防災懇談会・平成25年度宝くじコミュニティ助成事業・NPO交流大会参加内容の検討・NPOセンターから講師派遣、個別講座・2市1町国際化推進会議・富士見市国際フォーラム	10人
10/23	第14回 スタッフ会議	富士見市国際フォーラム・社会福祉協議会主催の年末ボランティア講座・大井作業所「みどりの青空市」出店要請・DV被害者支援ボランティア育成講座・シェルターの今後	8人
11/10	第5回理事会	シェルターの今後の運営について・平成25年度国際フェスティバル実施について・上半期事業報告	8人
11/13	第15回 スタッフ会議	「みどりの青空市」出店・ボランティア新規登録者紹介・生活相談のマニュアルを作成・日本語教室終了後「日本語の教え方」15分のレクチャー・国際理解と国際交流について・富士見市の生活相談について	8人
11/27	報告	「緑の青空市」・シェルター引っ越しについて・富士見市の生活相談窓口新設について	

12/11	第17回 スタッフ会議	シェルター新居・NPO 交流大会の参加内容検討・携帯電話通訳事業新規開拓について・第1回 DV 被害者支援ボランティア講座・「地域国際化推進事業」の申請・NPO センター寄贈ソフト	11人
1/8	第18回 スタッフ会議	日本工業大学「日本語ソフトウェア報告会」・講座「風呂敷と長野さんお話」・ふじみ野市防災訓練・NPO 交流大会・携帯電話事業の現状と課題・新年会について	11人
1/22	第19回 スタッフ会議	福島県会議報告・子ども大学みよし報告・6市1町日本語ネットワーク会議・FICEC のHP 更新について・アフリカ難民からの相談や翻訳の受け入れ体制	8人
2/9	第6回理事会	来年度理事・来年度携帯電話通訳事業・総会準備・指定NPO 法人制度の活用・平成25年度シェルター事業予算・埼玉県福祉課の委託事業・三芳町の「子どもの健全育成支援専門員業務委託事業」の今後・会計報告	11人
2/12	第19回 スタッフ会議	NPO 交流まつり・鶴ヶ丘小学校国際理解教室・防災ガイドブック、DVD作成事業完了・アフリカ難民に関する情報・富士見市生活相談・「生活保護者」支援事業・25年度携帯通訳事業・「埼玉県指定NPO」への申請・ハローフレンズの編集作業協力をお願い・シェルターの新体制	8人
2/26	第20回 スタッフ会議	外国人災害支援事業・シェルター新体制・4月から富士見市役所内生活相談開始・2市1町広報に会員・ボランティア募集・「日本冠婚葬祭互助協会社会貢献基金」申請・三芳町協働まちづくりネットワークへの参加・アフリカ難民への対応・当番内容の再確認・イオンレシートキャンペーン	11人
3/2	臨時スタッフ 会議	「三芳町子ども学習広場」平成25年度子供の健全育成専門員業務委託に関する確認事項	14人
3/2	臨時理事会	「三芳町子ども学習広場」平成25年度子供の健全育成専門員業務委託の継続について	7人
3/12	第21回 スタッフ会議	DVD作成事業報告会・2市1町生活ガイドHP作成新体制・三芳子ども健全育成支援事業報告・「青空市」出店・「会員へのアンケート」・当番の仕事の内容確認・不法外国人への生活相談や翻訳・通訳の対応	12人
3/26	第22回 スタッフ会議	25年度の組織図検討「責任者とスタッフ」	11人
3/30	第7回理事会	「よりそいホットライン」事業説明会・来年度の役員・理事会の役目・助成金や資金調達について意見交換・25年度事業計画・不法滞在者や難民への対応・24年度決算	10人

平成25年度 事業計画案

開設16年目になる今年、FICECにとって、後継者の育成が最大の目標だろう。そのために平成25年度は、人材育成とスキルアップのための講習会を積極的に実施したい。

また、若いスタッフの意見を尊重し、その考えを活動に取り入れ、動きのある新しいNPOにしたい。

そこでさっそく FICEC でもフェイスブックを始めることにした。選挙運動でもその利用が解禁されるほど、一般的なメディアとなったインターネット。若いスタッフを中心として、もっと大勢の人に FICEC の活動を知ってもらい会員を増やそうという思いを実現させたい。

また、生活相談や国際子どもクラブの活動場所を数か所に増やし、利用者の利便を計りたいとも考えている。そのためには、スタッフを増強し、活動資金を確保する必要がある。

事務局サイドでは、県庁共助社会づくり課の薦めで、埼玉県指定NPOと認定NPOに承認されるための準備を進めている。FICEC をおおいにアピールして、寄付者を増やしたい。

在日外国籍等市民の50%が永住者で、日本人配偶者と定住者を合わせると16%超となった今年、外国籍等市民事情がどう変わっていくのか想像もつかないが、みんなで力を合わせて、国のため地域のために活動続けるのはもちろん、1年1年を大切にしながら、20周年を迎えたいと思っている。

		事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者
外国籍等市民の人権擁護と自立支援		生活相談	通年	FICEC 他	10名	800件
		シェルター	通年	FICEC・県内	10名	延400名
		DV講習会・生活相談勉強会	15回	FICEC・県内	10名	100名
		パソコン教室	第2,4木曜24回	FICEC	2名	延130名
		携帯電話通訳事業	月～金PM	県内	4名	400名
国際理解と国際交流の推進	国際理解社会教育	国際理解講座	7回	小中高校・公民館他	12名	1000名
		大学との協働	7大学	大学・県内	5名	1000名
	語学教室	中国語教室	金曜	FICEC	3名	延150名
		英語教室	木・火曜	西公民館	2名	250名
多言語情報の収集と提供		生活情報誌の発行	12回	FICEC	11名	4800部
		生活ガイドHP維持管理	4回/年	FICEC	6名	アクセス数80,000件
		翻訳	随時	FICEC	15名	埼玉県民
		出版、編集	随時	FICEC	3名	埼玉県民
日本語学習支援		日本語教室	木曜	FICEC	6名	延250名
		国際子どもクラブ	土曜、長期休暇中	市民活動支援センター	10名	延300名
子どもの健全育成		子どもの健全育成支援	月・水・金	藤久保公民館他	延1000名	延2000名
行政との協働		行政との協働事業	通年	県内	20名	埼玉県民
		NGO・NPO・協力ネットワーク	40回	県内	5名	埼玉県民
その他		機関誌の発行	隔月	FICEC	5名	8000部
		ホームページ	随時	FICEC	5名	アクセス数300,000件

■生活相談



FICECの事務所が、駅からの交通の便が悪いこともあり、4月から、毎週水曜日の9時から12時まで、富士見市役所の第3相談室において、出張生活相談室を開くことにした。実際、去年は事務所以外での相談が増えている。病院や学校等へ同行支援した日も多い。雨が降ってもベビーカーを引いても、誰でもいつでも気軽に相談に来てもらえるように、スタッフのますますの頑張りが期待される。

■シェルター

埼玉県の教職員住宅を借りた活動が終了し、昨年12月に民間のアパートに引越しての活動が始まった。交通の便もよく事務所にも通いやすい、地の利の良い場所ではあるのだが、高額な家賃を払いながらの活動がいつまで続けられるのか、いささか心配ではあるが、3人ひと組で3組に組織されたスタッフは皆心優しく、DV被害者の心の傷を癒してあげられるようにと、親身で関わっている。

■携帯電話通訳事業

25年度は東松山市のみの契約となった。資金的に前年度と同じサービスを提供することは不可能になった為、東松山市と協議の上、通訳者は2人、中国語、スペイン語、ポルトガル語の3ヶ国語の対応となり、東松山市所有の携帯電話と市内全行政施設の固定電話からの通訳依頼に対応することになった。

通訳者は、25年度は下記のスケジュールで当番として多言語通訳を行う。

また、確定ではないが厚生労働省の「よりそいホットライン」事業に協力して、全国規模での母語を生かした生活相談の話もある。「通訳から生活相談員へ」ステップアップしてもらうために、今後も生活相談員養成の為に研修会を実施していきたい。

当番としての多言語での通訳				時間：13:00 - 16:00
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
ポルトガル語	英語・タガログ語	中国語	中国語	英語・タガログ語

■日本工業大学との協働による学習ソフトの開発

去年は大学側の担当教授の退官により、新任の担当教授が決定。開発は当初の趣旨を踏まえて進めてきた。本企画は3年生の研究課題授業とされており、年が変わるごとに新しい3年生が、企画を引き継いで完成を目指すという方式をとっている。

企画内容については、より使い勝手のある物を研究したいとの話もあり、年間を通して交流を密にし、作業の進捗に協力したい。可能ならば並行して文字媒体によるテキストの作成も視野に入れられないものかと検討している。本年は、一部完成品も入手可



能の予定であるので、実際に学習者に使用してみるためにDVDを見る機器を入手したい。

■翻訳スタッフの開発

委託を受けて受注が増え、中国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、韓国語、英語などの翻訳スタッフの不足が生じてきた。翻訳内容の正確さを期するためにもスタッフの強化が急がれる。広く翻訳者を募り、近隣の大学にもアクセスしていきたいと考えている。

■生活情報誌「インフォメーションふじみの」

- ① 6カ国語の翻訳について、正確を期するためにダブルチェックを実施できないか。印刷前の最終チェックをシステム的に実施できないか。多少の予算化も含めて考えたい。
- ② 富士見市市役所2階の相談室に「インフォメーションふじみの」を常備したい。
- ③ 昨年は法律の改定もありシリーズ化した月もあった。今後は企画によっては増ページも視野に入れ、内容の濃いものとして一気に仕上げていくことも考えたい。
- ④ 行政書士のスタッフの参加により、記事内容がより正確さと説得力のある記事に構成されてきた。今後も読者の期待に応えるためにも引き続き参加をお願いしたい。

■7カ国語による快適生活情報クリップ 6巻

25年度も引き続きシリーズを増やしていきたい。賛同者からの寄付金を編集費の一部に充てられないかと期待している。しかしほぼ独自企画のため制作費にかなりの工夫を強いられることは間違いない。目標は20巻を目指そうということになっている。

本年度も同形態、同ページで編集予定。内容については、編集会議の結果を待って実施する予定であるが、当初の案としては「DV」編を予定している。

■「東上線沿線日本語教室ガイド」

23年度に作成した「東上線沿線日本語教室ガイド」も、配布先からの変更依頼も寄せられるようになった。そこで初版に入れられなかった教室の情報も収集して、変更点も含めて充実を図っていきたい。

■日本語教室

- ① 昨年後半からスタッフの声掛けで実施してきた指導者の意見交換会を月1回定期的に実施していきたい。さまざまな意見が出てくると思われるが、学習者のほうからの話題もそこで紹介されると新しい情報源になることを期待したい。
- ② 日本文化の体験イベントをスタッフ一同と考えたい。毎回のことながらスタッフ皆さんの力強い協力に感謝したい。内容的に新鮮味を感じられるものも含めて4から5回は実施できないか。またFICECのイベントと限定することなく日本語教室連絡会にも呼びかけ、新しい企画として多くの参加者を期待したい。今後は、富士見市の人材バンクの登録者の登壇も視野に入れていきたい。
- ③ 日本工業大学の24年度日本語教材で自習による日本語学習、自宅での学習ソフト等に利用する事を視野に入れ、学習効果をあげていければと考える。
- ④ 昨年意図してきたものの実行できなかった「駅からFICECまでの道順の詳細図」を多言語で作成してみたい。出来上がった地図は駅近くの交番や役所などの公共施設に置く予定。作成にあっては、体験学習に来られる大学生に依頼をしたい。

■子どもの健全育成支援

平成25年度から4人の専門員が指導にあたることになった。県からの期待に応えられるようお互い協力して活動したい。

平成25年度は新中学3年生6名。日本語以外にも、不登校、学習意欲がないなど、いずれも進学が容易ではない子どもたちを抱えている。和やかな居場所と、学校の学習や受験勉強を進める場との共存を工夫し、一方、外国籍親家庭の小学生には母親代わり、宿題支援を中心に活動を続けていくことを目標にしたい。

■活動を活性化させるための助成金申請等

FICECの活動は、多数のスタッフに支えられているが、活動が活発になればなるほど費用を支出するための財政基盤の確立も必須となってくる。従来も、活動の内容にしたがって公共機関、団体などからの補助金、助成金等により活動資金をねん出してきているが、今後は、ますますそうした助成金等を積極的に活用する方策を、スタッフ会議、理事会を含めて、FICEC全体で協力して考えていきたい。

特定非営利活動法人

ふじみの国際交流センター

(FUJIMINO INTERNATIONAL CULTURAL EXCHANGE CENTER)

理事長 石井ナナエ

〒356-0053 埼玉県ふじみ野市大井 2-15-10 うれし野まちづくり会館 2F
TEL: 049-256-4290・049-269-6450 FAX: 049-256-4291 URL://www.ficec.jp/